

万 祝 歳 時 記

平成15年 4月 25日
第16号 発
千葉県漁業士会銚子支部
銚子水産事務所

今更ながら・・・

今年度から、改良普及課で漁業士会銚子支部を担当することになりました加藤です。この万祝歳時記の編集については、私が担当になります。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、この万祝歳時記の「万祝」という言葉、もう普及員として、3年目に突入するのですが、どのような語源か全く知らないで、のんびりとお過ごししておりました。何かめでたい意味の言葉のように感じるのですが・・・

皆さんはご存じだと思いますが、江戸時代、魚が大漁になった時、漁師に配られるおそろいの祝着のことを房州地区では、『万祝』と呼んでいたのだそうです。

そういえば、この発行誌に掲げている看板、そろいのハンテンの絵が出ていますよね～

この万祝が配られていた当時、房州地区のイワシ漁は盛況に続く盛況で、このような風習ができたのだといわれています。

平成14年、銚子漁港の水揚高は、187,547トン、200億円でした。13年は、水揚量で全国1位の実績を挙げましたが、14年は、焼津の勢いに追いつくことができず、2位に留まりました(T.T)。

最近、イワシの不漁や魚価の低迷など、あまりいい話がありませんが、まだまだ諦めてはいけません。

また近いうちに、万祝を配ることができるよう頑張っていきたいと思います！



第8回全国青年・女性漁業者交流大会について

3月5、6日、東京の「虎ノ門パストラル」にて、第8回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました。海匠漁業協同組合青年部は「サトウガイ(アカガイ)の共同出荷に取り組んで(発表者:鈴木大作氏)」という題で、漁業経営部門に参加し、**水産庁長官賞**を受賞しました。

サトウガイ(アカガイ)は、20年前、年間1,000トン以上漁獲され、価格もキロ当たり1,500円以上の高級貝類として取引されてきました。昭和57～60年に原因不明の大量斃死で激減していましたが、近年、資源が回復傾向にあり、操業を開始しました。

しかし、現在、キロ当たり300～400円と、価格がかなり低迷しています。

そこで、青年部では、築地市場を視察し、流通調査や付加価値向上の調査を行い、平成13年から、築地への共同出荷を開始しました。また、サトウガイでは、分かりづらいため、『**九十九里赤貝**』と名称を付けて、ブランド化を図りました。

その結果、浜値が、今までより、100～200円上昇し、貝捲船団全体の漁獲収入を2千万円近く向上させる結果となりました。

全国的に、漁獲物の付加価値向上を目指している漁協などが多い中、青年部が、このような試みを行うことは、全国でも初めてのケースだそうです。青年部では、これに満足することなく、今後もさらに出荷先を広げて、共同出荷を行っていくとのことでした。



銚子

海 匠

九十九里

漁業士会の視察研修について

3月9日、漁業士会銚子支部では、漁業に関する見聞を広めるため、内房の鋸南町保田漁協が直営している食堂「ばんや」を視察しました。「ばんや」では、地元定置網漁業で漁獲された、とれたての魚を扱っており、どれもおいしいと評判です。

当日は、11時前に到着したにもかかわらず、既に座席が半分以上埋まっています、大変な賑わいでした。

また、忙しいなか、漁協の参事さんからお話をうかがうことができました。聞けば、参事さん自ら、調理や接客などをこなしているとのこと。漁師さんと漁協が一体となって漁獲物の価格向上を目指している光景に、漁業士会の皆さん共々感心するばかりでした。



各浜の活動等について

グリーンマークが目印です！！ークロアワビの種苗放流についてー
～銚子市漁業協同組合～

4月11日、黒生地先の岩礁地帯で、アワビの種苗放流が実施されました。これは銚子市漁協が事業主体となり、毎年行われているものです。今年アワビ種苗7,508個(26.9kg)を千葉県水産振興公社白浜事業所から4月7日に購入しました。アワビは、カジメと瓦を入れたかごの中に収容し、一山いけすの蓄養場で蓄養し、海が凪いだ11日に放流となりました。当日は朝8時に海士が伝馬船で黒生地先に向かい、黒生漁港から海鹿島にかけての水深3～5mの岩礁帯5箇所に放流しました。今年のアワビ漁獲は5～7月に3回ほど実施する予定だそうです。



春の人事異動について

春といえば、出会いと別れの季節。今まで3年間、改良普及課で銚子地区の担当として、また、皆さんに『宮ちゃん』の愛称で可愛がられておりました宮里普及員が、この度、県庁水産局漁業資源課に異動することになりました。

ここで、宮里普及員より一言挨拶をお願いします。

『このたび、異動することになりました、宮里です。以前、栽培の仕事をしていて、地域のことをよく知らない私に、漁師のみなさんは、親切に色々教えてくださいました。この場を借りて、お礼申し上げます。今後は県庁での仕事ですが、違った角度から、皆さんの応援をしたいと思いますので、宜しくお願いします。』

3年間お疲れさまでした。

さて、昨年度、所長が兼務していた改良普及課長の椅子に、今年度4月より、新しく課長が赴任することになりました。

皆様、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、

河野一郎課長です。

それでは、御本人に、挨拶をお願いします。

『このたび、銚子水産事務所改良普及課長として、着任いたしました河野と申します。銚子水産事務所です仕事をするのは、これで3回目ですが、改良普及の仕事は初めての経験です。中年太りで動きは鈍くなっていますが、若い2人の普及員とともに、皆さんの間に入れていただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。』

15年度、改良普及課員担当地区は下記のとおりになりました。

| | | |
|----------|--------|------------|
| 改良普及課長 | 河野 一郎 | 銚子市外川町 |
| 水産業改良普及員 | 小林 正三 | 銚子市本城町～黒生町 |
| 水産業改良普及員 | 加藤 惣一郎 | 飯岡町～大網白里町 |

今年度も、よろしくお祈りしますm(_ _)m。

ご意見やご感想、情報提供がありましたら、銚子水産事務所改良普及課まで御連絡下さい。

連絡先: 電話 0479-22-8397
FAX 0479-22-9167